

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	新型コロナウイルス感染症の拡大前には、個別の外出支援や馴染みの他者交流、また家族面会や施設での訪問交流ができていたが、感染防止対策によりビデオ通話や、独居の方の一時帰宅支援などに限られ、自粛制限が続いている。	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの関係や大切な思い出を共有でき、繋ぎ合わせることに努める。	毎月の利用者のおたよりに入居者自身のコメント(自筆または代筆)をいれて、本人の思い出ノートなどを家族らと共同活用し、コロナ禍での家族や馴染みらとの面会や行事交流に代わるコミュニケーションに取り組む。	12ヶ月
2	35	施設での火災訓練や地震・水害に対する水防訓練、夜間の伝達訓練を実施し、地域自治会とも災害時の一時避難場所としての調整を、自治会だよりにて発信しているが、災害時に実効性のある協力体制が決まっていない。	災害に備えて、地域と法人との関係性や情報連携など、さらに具体的な災害対策における地域と双方向の協力体制の構築に努める。	運営推進会議などの検討する場や、地域で開催する防災訓練の参加を通じ、南海トラフ等の大規模災害に備えて、地域住民と法人職員が具体的な防災・福祉の連携、協力体制の構築に取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。